

# ARISE ジャパン 公開シンポジウム

## 防災・減災のイノベーション その成果と課題

### 能登半島地震で見えてきたこと

UNDRR ARISEは防災・減災について、社会の急激な変化を考慮し、最新技術を積極的に取り入れ、新たな視点で備え、レジリエンスの向上を目指すという、イノベーションの姿勢を持つことを推奨してきています。本シンポジウムのテーマは、アジア地域でのその取り組み状況と見えてきた課題を共有し、今年10月にUNDRRがフィリピンで開催するアジア太平洋防災閣僚級会合に向けて、次の発展への気づきを見いだしたいと思います。

日本では、企業は東日本大震災の教訓を生かして、イノベーションの視点で事業継続力の強化に積極的に取り組んで来ています。しかし、元旦に発生したM.7.6の能登半島地震は、地震被害に加えて、東日本大震災以来の大規模な津波被害をもたらす大規模災害となりました。今回、3月ではまだ情報が十分に整理されていない時期ですが、私たちの関心が高いうちに、企業の備えで何がうまくいき、何がうまくいかなかったのかを共有し議論し、企業が防災・減災へさらなるイノベーションに取り組む切っ掛けにしたいと思います。

# 3月12日 火 15:30 - 18:00

(開室15:15)

## ハイブリッド開催 (AP虎ノ門 及び Zoom)

AP虎ノ門会場：東京都港区西新橋1-6-15 NS虎ノ門ビル (日本酒造虎ノ門ビル) 11F

主催：UNDRR ARISE ジャパン  
共催：国連防災機関 (UNDRR) 神戸事務所



UN Office for Disaster Risk Reduction

事前  
登録制  
無料

参加申込み：オンラインにて受付  
定員会場40名、オンライン100名  
<https://bit.ly/arisejapan2024>  
お問い合わせ：ARISE ジャパン事務局  
[secretariat@arisejapan.jp](mailto:secretariat@arisejapan.jp)



後援：一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン  
一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会  
一般社団法人 日本防災プラットフォーム

15:30	主催者挨拶	ARISEジャパン 代表 UNDRRアジア太平洋地域事務所長	高松 正人 Marco Toscana-Rivalta
15:40	アジア地域の防災・減災イノベーションの取り組みと課題	フィリピン企業のイノベーションの取り組みと課題 インド企業のイノベーションの取り組みと課題 アジアのARISEネットワーク連携の可能性	ARISE理事、ARISE Philippines V.Adm. Alexander Pama ARISE理事、ARISE India Brig. Bhagat Khanna UNDRR神戸事務所 駐日代表 松岡 由季
16:05	パネルディスカッション：能登半島地震で見えてきたこと	モデレーター：ミネルヴァベリタス株式会社 顧問 本田 茂樹 発表： デジタルを活用した防災・減災イノベーションの取組 災害時の空間情報の取得および解析 地球観測衛星による災害監視の現状と課題 宿泊施設の初動対応と事業の回復に向けた取り組み 防災におけるデジタル技術の活用～科学的根拠に基づく意思決定の促進～ 企業のBCPと発災後の攻めの情報開示	I-レジリエンス(株) 代表取締役社長 小林 誠 (株)パスコ 経営戦略本部 災害対策部部長 下村 博之 (一財)RESTEC 研究開発部部長 古田 竜一 観光レジリエンス研究所 代表取締役社長 高松 正人 (株)構造計画研究所 エンジニアリング 営業1部 石塚 広一 ARISEジャパン事務局 阿部 嘉子
17:30	アジア地域の防災・減災イノベーションへの期待・アジア太平洋防災閣僚級会合にむけて	UNDRRアジア太平洋地域事務所長	Marco Toscana-Rivalta
17:40	ラップアップと閉会挨拶	ARISE理事、国際航業(株) 代表取締役社長	土方 聡
17:45	終了後18:50まで、会場で簡単な懇談会を行います。		

※プログラムは当日内容の変更がある場合がございます

